広報ふじ

（毎月25日発行）

静岡県富士市平垣279番地
発行所　富士市役所
発行人　富士市長 遠藤脩治
印刷所　加藤印刷所
No. 31
昭和33年3月25日発行

富士市の人口
昭和33年3月1日現在

総人口	43,092人
男	21,488人
女	21,604人
世帯数	7,988

（住民登録調）

新年度の施政方針

重点事業は旭化成田子浦港の完成

総額（一般、特別）六億三千七百万円
三月定例富士市議会終る

三月定例議会は三月四日午前九時招集され会期を十二日までの九日間と決定し、第一日目の本会議は昭和三十三年度富士市一般会計および特別会計歳入歳出予算を上程、当局より関係課長の説明について翌五日も午前九時開議、前日に引続き関係課長の説明後直ちに総括質問に入り、活潑な論戦をくりひろげた。終つて議第二十四号区域外営造物設置（火葬場を鷹岡町に新設）ほか一件を即決し昭和三十三年度一般、特別会計予算ほか六件を各常任委員会に付託した。すなわち三月十二日の本議会は各常任委員長より付託議案の審査の結果報告のあと採決、三十三年度新予算、建設五ヶ年計画に基く岩松小、富士二小など増改築などいづれも原案通り可決された。

新年度予算編成に当り遠藤市長の編成方針演説は大要つぎの通り

岩小と二小を鉄筋三階に増改築

本日茲に昭和三十三年度一般会計並びに特別会計予算提出に当り予算編成についてその大綱を御説明申し上げます。先づ冒頭申し上げたい点は御承知の通り私は任期余すところ約二カ月でありまして、昭和三十三年度予算を編成致しましてもその執行については殆んど手をつける期間がなく且つ総花的予算であるという誤解を受ける事であつてはと考えむしろ必要経費のみを計上し、新首長によつてその方針に合致した予算編成を行う事が、現在私の取るべき道ではないかと色々苦慮し、また研究も致しましたが、結局法的に斯様な措置は許されない事を考え敢てここに年間予算を編成し提案致した次第であります。従つて過般内示会にその概要をお示し申し上げました通り誠に新鮮味のない平凡な予算であるとの批評は有るかとも存じますが私が任期満了直前に於て本予算編成に当面したる衷情何卒御諒察願いたいと存します。さて一月中旬私は予算編成の方針を定め課長の参集を求め編成の大綱を指示したのであります。

昭和三十三年度事業中最も重要課題として取り上げましたものは、工場誘致と一体の関係にある田子浦港湾とこれに関連する田子浦地区開発事業を挙げ、次に継続事業、或は建設五カ年計画に基く未完成の事業、即ち岩松小学校舎の完成、第二小学校六教室の新築、都市計画の富士鷹岡線事業、火葬場新設事業、消防自動車の購入、富士川用排水事業、公営住宅の建設、防火帯建築の推進並びに海岸砂防工事の推進等を重点として、一般経常費については已むを得ない費用の外は努めてこれを切りつめ、課長の良識に基いて原案を作製し要求書の提出を命じたのであります。その結果、一般会計に対する予算要求額は過般申し上げました通り三三一、七四〇、〇〇〇円に上つたのであります。（写真は施政方針演説中の遠藤市長）

一般会計歳入は—二億八千八百万円

以上提出されました要求案を査定するに当りまして、私は先づ第一に歳入について検討を加えたのであります。御承知の通り昨年度すなわち昭和三十二年度におきましては、予算外の税の増収によりまして最終予算三六七、三〇〇、〇〇〇円余を計上し本市においてかつて見ない多額の財源を得たのであります。斯様な現象は神武景気の最後のしわ寄せが三十二年度にあらわれたもので、すでに国内財界の情勢は昨年度の金融引締め等の影響によつて極度に沈滞状態に陥入つています現状よりみて何時までも三十二年度の甘い夢を追うが如き安易な考えは許さるべきではありません。私は年頭の所感に於て昭和三十三年は非常に財政的に苦難な年である事を覚悟せねばならないと申し上げました。以上の見地から先づ財源の大宗たる市税収入について検討致しますならば本年度は相当の減収を覚悟せねばなりません。即ち大きく影響いたす面は財界不況に伴う法人税割、更に電気ガス税にまでこの影響が予想せられるのであります。更に自転車、荷車税の廃止、一部税法の改正等々を考慮いたし一応市税収入を過般申し上げました如く二億一千万前後と推定しその九〇%の額すなわち昭和三十一年度最終予算に於ける市税額とほぼ同額の一億八千六百万円を見込み地方交付税は昨年度並とし、その他税外収入については三十二年度実績を勘案し極めて確実に収納し得る限界において計上いたし茲に歳入総額二億八千八百万六千五百円を決定いたしたのであります。

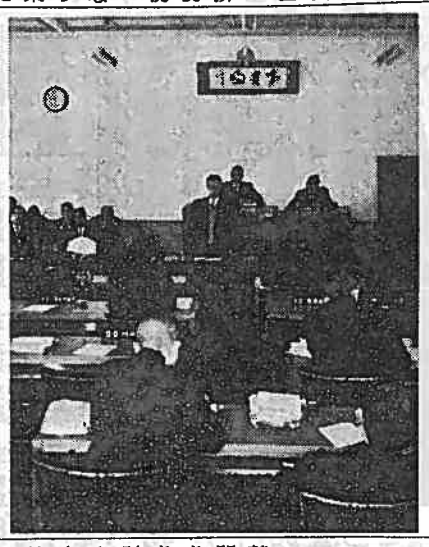
歳出について

つぎに歳出面について申し上げるならばさきほど申し上げました各課長より提出されました要求額二億三千百余万円は誠に良心的な要求で決して過大なものでなく極めて妥当な要求であることを至直に認めたのであります。しかし乍ら国、県等の計画額の判明せざる事業等については当初予算に計上を差し控えました関係上いずれ追加予算として当然計上しなければなりません。従つてこれが財源をも確保し予定して置かねばならない点等を考慮し已むを得ず歳入面とも照らし合わして茲に四千三百七十三万六千一百円を削減致した次第であります。

すでに議案について御承知の通り私が三十三年度重点施策と考え指示致しましたものは一応計上致しましたが未計上の富士川用排水事業費、田子浦港湾関係費用は今後国、県の計画確定と相俟つて追加予算として計上すべきものであります。斯様に考えますと本年度事業遂行に当つては誠に苦難な運を予想しなければなりません。いずれに致しましても財源の大半を占める徴税の万全を期すると共に税外の収入についても最善の努力を致しまして財源の確保に努め事業の完遂を期すべきことは公僕として当然の責務と存する次第であります。幸いに各課長が部下職員と一体となり貧しい予算にも拘わらず百%の効果を挙げるべく強い信念を披瀝せられました事は私の感激に堪えないところであります以上をもつて一般会計の説明を終ります。

建設費に七千万円
市立富士中央病院特別会計

つぎに市立富士中央病院特別会計について申し上げます。御承知の通り中央病院の経営も逐年改善向上し漸く市立病院として名実共に充実の域に達しましたことは担当職員の努力は勿論のこと議員各位の御鞭撻の賜と深く感謝致すところであります。ただ遺憾な点は病舎の老朽且つ狭隘のため充分なる医療成果の得られなかつた点でございます。幸い昨年度は本館改築と結核病棟二十床の増設の機熟しその緒についた次第であります。従つて本年度は一気にこの多年の懸案を解決致すべくかつてない多額の予算を計上致した次第であります。その額は一億三千七百九十三万六千円となり昨年当初予算に比して約倍額であります。この中病院建設費として七千万円を計上致しました。



一千万を上廻る競輪事業の収益金

競輪事業特別会計につきましては開催権獲得以来過去三カ年の実績をみまして一千万円を上廻る収入を得まして税外収入として本市の財源に大きな役割を果して居りますことは御承知の通りであります。本年度は単独開催一回分を基幹として熱海と共催、その収益を雑入として熱海市より受け入れる事と致しました。従つて本年度予算規模は九千七百三十八万七千円を計上致しました。苦難の本年度当市財源としてこの事業の成果に期待するところが大きな訳でございます。

したがつて昭和三十三年度一般会計並に特別会計の当初予算は合計六億三千七百九十五万三千九百円と相成る次第であります。いずれに致しましても予算に計上致しました以上これが執行に当つては百%の完遂を期せねばなりません。また財源の確保については徴税の完璧を期するは勿論、税外収入についても万全の措置を考えなければなりません。これには市民各位の市政に対する深い理解と議会の絶大なる御協賛に待たねばならないことは申すまでも御座居ません。最後に昭和二十九年就任以来四年度にわたる予算提出とその執行については終始変らざる議会の御協賛と市民各位の御支援に対し深甚なる感謝の意を表する次第であります。

国保事業

つぎに国民健康保険事業特別会計について申し上げます。国保の事業は創設以来日なお浅いのに拘らず順調に進展をみて居りますことは当然計上しなければなりません。従つてこれが財源をも確保し予定して置かねばならない点等を考慮し已むを得ず歳入面とも照らし合わして茲に四千三百七十三万六千一百円を削減致した次第であります。

すでに議案について御承知の通り私が三十三年度重点施策と考え指示致しましたものは一応計上致しましたが未計上の富士川用排水事業費、田子浦港湾関係費用は今後国、県の計画確定と相俟つて追加予算として計上すべきものであります。斯様に考えますと本年度事業遂行に当つては誠に苦難な運を予想しなければなりません。いずれに致しましても財源の大半を占める徴税の万全を期すると共に税外の収入についても最善の努力を致しまして財源の確保に努め事業の完遂を期すべきことは公僕として当然の責務と存する次第であります。幸いに各課長が部下職員と一体となり貧しい予算にも拘わらず百%の効果を挙げるべく強い信念を披瀝せられました事は私の感激に堪えないところであります以上をもつて一般会計の説明を終ります。

運営は独立採算と場、公益質屋予算

つぎに公益質屋特別会計について申し上げます。公益質屋は唯一の庶民金融機関として順調な営業成績を挙げ年々利用者の増加しておりますことは寡びに堪えません。本年度予算は三百五十九万四千円を計上致しましたが、予算書においても御覧の通り歳入において他会計の繰入金もなく歳出においても公債費の計上なく全く本年度より独立採算制の運営を行うことになりました。

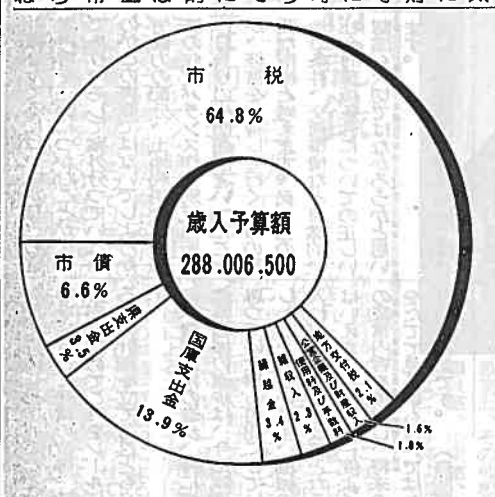
公益質屋

水道事業につきましては新市発足以来着々その施設の拡充をみましたが本年度は全市域にわたる給水施設の完成並に配水池工事の完成を目途として八千三百六十三万四千円を計上致しました。申し上げるまでもなく水道施設は市民生活に不可欠にして緊急なる事業に鑑みまして起債使用料のみの収入については到底これが完成は期し難いため本年度も一般会計より一千万円の繰出を計上致しましたことは御承知の通りであります。これ又五カ年計画に基く当市の重大事業でもあります。

助産、葬祭費の支給

富士市保険課は被保険者の出産又は死亡した場合には助産費および葬祭費を各壱千円宛支給しております。未だ支給を受けていない方は(1)出産証明書又は死体埋火葬許可証(2)受診証（保険証）(3)印鑑を持つて至急保険課までお申し出下さい（保険課）

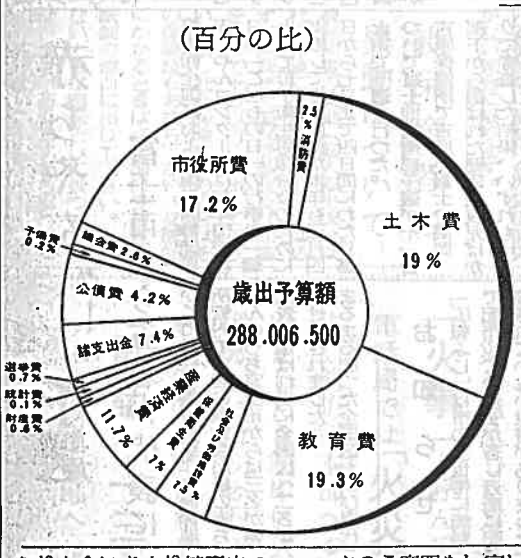
歳入予算額 288.006.500



昭和33年度 一般会計

（百分の比）

歳出予算額 288.006.500



昭和33年度富士市予算総括表

歳入の部（一般会計）

款別	本年度予算額	前年度当初予算額
1. 市税	186,659,100円	178,390,600円
2. 地方交付税	6,000,000	6,000,000
3. 公営企業及び財産収入	4,604,400	4,505,280
4. 使用料及び手数料	5,041,500	6,003,400
5. 国庫支出金	39,967,500	21,124,100
6. 県支出金	10,030,800	7,009,300
7. 寄附金	10,000	1,001,000
8. 繰越金	10,000,000	5,000,000
9. 雑収入	6,693,200	7,550,200
10. 市債	19,000,000	19,300,000
繰入	0	17,300
歳入合計	288,006,500	255,901,180

歳出の部（一般会計）

款別	本年度予算額	前年度当初予算額
1. 議会費	7,561,300	6,155,800
2. 市役所費	49,611,500	45,103,970
3. 消防費	7,155,100	6,565,980
4. 土木費	54,837,000	52,297,000
5. 教育費	55,472,900	41,984,800
6. 社会及び教育施設費	21,555,800	24,441,700
7. 保健衛生費	20,278,500	17,115,900
8. 産業経済費	33,711,900	16,105,100
9. 財産費	1,721,800	11,909,030
10. 統計調査費	153,000	446,600
11. 選挙費	1,997,700	376,300
12. 公債費	12,004,000	8,259,000
13. 諸支出金	21,446,000	24,640,000
14. 予備費	500,000	500,000
歳出合計	288,006,500	255,901,180

特別会計歳入歳出予算額

市立富士中央病院	137,936,000	65,534,000
富士市水道事業	83,634,000	80,270,000
富士市国保事業	24,854,000	22,144,000
富士市公益質屋	3,742,300	3,672,288
富士市営と場	2,394,100	2,702,900
富士市競輪事業	97,387,000	192,246,000
合計	349,947,400	366,569,188
一般会計 特別会計 総額	637,953,900	622,470,368